

**長野県議会**  
**改革・新風**  
会派だより

第1号 (2011年) 平成23年7月

発行・編集／改革・新風  
長野県庁県議会棟内(026)232-0087  
発行責任者 倉田 竜彦 印刷所 中外印刷KK  
http://www.kaikaku-shinpuu.com

**会派15人でスタート!**

吉川 彰一 (財務委員長)  
石和 大 (政策審議副会長)  
壘 裕一 (広報企画委員長)  
荒井 武志 (政務調査副会長)  
小島 康晴 (政策審議副会長)  
中川 博司 (政策審議副会長)  
竹内 久幸 (幹事長)  
堀場 秀孝 (政務調査副会長)  
倉田 竜彦 (代表)  
依田 明善 (政策審議副会長)  
寺島 義幸 (副代表)  
山岸 喜昭 (政務調査副会長)  
野澤 徹司 (幹事長代理)  
続木 幹夫 (広報企画副委員長)  
下沢 順一郎 (政務調査会長)

( )内は会派役員

- 小島議員**
- ・新しい長野県づくりと中期総合計画について
  - ・投票率の向上と県民の県政への参加について
  - ・下沢議員
  - ・上高地での土石流被害について
  - ・震災後の経済問題について
  - ・自然エネルギーについて
  - ・今年の夏の電力供給不足への対応状況について
  - ・「自然エネルギー・信州ネット」について
  - ・震災の影響による雇用問題について
  - ・災害拠点病院の災害対応について
- 山岸議員**
- ・信州の観光戦略について
  - ・再生可能エネルギーの活用について
- 壘議員**
- ・震災被災者の県職員雇用について
  - ・雇用問題について
  - ・パーソナル・サポート・モデル事業について
- 荒井議員**
- ・地域防災計画について
  - ・中小企業振興条例(仮)
- 依田議員**
- ・福島原発事故をふまえた今後のエネルギーへの取組について
  - ・地域防災計画の見直しについて
  - ・災害時のライフラインの確保について
  - ・地域自主防災組織の確立について
  - ・復旧復興の現状と人員配置について
  - ・メガソーラープロジェクトについて
  - ・森林整備について
  - ・外国資本等から水源地を守る施策について
  - ・南佐久郡の地域医療について

**6月定例会**

**147億4000万円余**

**補正予算などを可決**

六月定例会県議会は、6月23日開会し、7月8日までの16日間の会期で開催されました。前年比5倍以上の147億41,212,000円の一一般会計補正予算案等の知事提出議案、地方財政の充実・強化を求める意見書案等議員提出議案など全議案が可決されました。

称)の制定について

**中川議員**

- ・福島原発事故をふまえた今後のエネルギーへの取組について
- ・地域防災計画の見直しについて
- ・災害時のライフラインの確保について
- ・地域自主防災組織の確立について
- ・復旧復興の現状と人員配置について
- ・メガソーラープロジェクトについて
- ・森林整備について
- ・外国資本等から水源地を守る施策について
- ・南佐久郡の地域医療について

- 石和議員**
- ・子どもをとりまくメディアの影響について
  - ・医療再生について
- 吉川議員**
- ・LED照明の活用について
  - ・中京圏を対象とした観光振興について
  - ・リニア中央新幹線について
- 続木議員**
- ・福島第一原子力発電所事故による放射能汚染から子どもを守る受入れ体制について
  - ・長野県の外郭団体整理統合について

**栄村の被災地を視察**

5月16日、会派で栄村の被災状況の視察に行きました。地震発生から2ヶ月が経過して今なお生々しい爪痕が残る道路や橋、倒壊した家屋や残った警告の赤札が貼ら

れた建物、農地のひび割れ、や陥没、傾斜等の被災状況、5月中旬から入居が始まった仮設住宅の建設現場などの調査を行いました。忙しい中時間をとってくださ

**阿部知事に要望活動**

6月8日、会派「改革・新風」では、5月の栄村への視察結果等を踏まえ、「当面する課題に関する提言の申し入れ」として、以下の7項目を中心として阿部知事への要望活動を行いました。

- (1) 震災による県内経済・雇用への影響を継続的に実態調査し、引き続き切れ目のない対策を講じること。
- (2) 災害復興を全力で進めるとともに、地域防災計画の見直しなど早急に取組み、心配される東海地震や内陸型直下地震への備えを行うこと。
- (3) 安心子ども基金など本県にとって使い勝手のよくない基金を改善し、震災からの復興や当面の経済・雇用対策に弾力的に活用できるように働きかけること。
- (4) 「雇用基金」を活用し、本県に避難されている被災者の方々の県内就職職員として採用する制度を創設するなど、生活の安定を図ること。
- (5) 海外へ輸出する農林水産物・食品の放射能検査を行うための機器を導入し、県内での検査体制を確立すること。
- (6) 県職員が丸となった復興支援に取り組み、簡素で効果的なプロジェクトを編成すること。
- (7) 県が関わる建築物について、「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」を踏まえ、県産材の活用を進めるよう格段の配慮をすること。

また、栄村の村営住宅建設に当たり、県産材活用が図られるよう配慮すること。

知事からは前向きな回答をいただきました。特に失業者向けの緊急雇用創出基金を活用して被災者の方々の雇用を積極的に進める姿勢が窺えま

**5月臨時議会**

改選後初の議会である5月臨時議会が5月9日(12日)に開かれ、議長・副議長の選挙、議会運営委員会及び各常任委員会の委員と正副委員長の選任が行われました。なお、東日本大震災及び県北部の地震災害等に関する議案が緊急を要するとして提出され、全会一致で可決されました。

つた島田村長はじめ村役場の方々や北信建設事務所職員さんたちから説明をいただき、現場の要望等も聞かせていただきました。

**竹内幹事長、副議長就任**

5月臨時議会、我が会派「改革・新風」の竹内幹事長の副議長就任が全員賛成で決まりました。

で長野県議会が進めてきた議会改革に向けての様々な取り組みを紹介し、議会改革で全国上位に評価されている点を強調する一方で、今回の県議選での低投票率など県民にとって県議会が遠い存在であることに触れ、更なる「議会改革」を推進し、県民に身近で信頼される県議会という各議員の共通目標の達成に向かって、議会の円滑な運営に務める旨の決意を表しました。

**東京事務所現地調査**

6月15日、長野県の東京事務所の視察を行いました。県内への企業誘致の現状や首都圏での県産品の販売状況、昨年度東銀座にオープンしたアンテナショップなどについて説明があり、出席した議員と職員の間で活発な質疑応答が行われました。

**常任委員会** (○委員長 ○副委員長)

総務企画警察	倉田竜彦	寺島義幸	○壘 裕一
健康福祉	○吉川彰一	続木幹夫	
環境商工観光	○小島康晴	山岸喜昭	依田明善
農政林務	荒井武志	中川博司	
危機管理建設	○野澤徹司	堀場秀孝	
文教企業	下沢順一郎	石和 大	
議会運営	倉田竜彦	○下沢順一郎	吉川彰一